

10月3日のウクライナ情報

安齋育郎

①セルゲイ・ラブロフ外相、国連総会後の記者からの質問(2024年10月1日)

※安齋注:ブチャの大虐殺なるものが、ウクライナ側の自作自演であることは明白ですが、いまだにロシアの仕業と見ている人は少なくありません、『安齋育郎のウクライナ戦争論』をよく読んでほしいものです。

記者:なぜブチャに言及したのですか?もし私がロシアの高官なら、あの血なまぐさい虐殺を迂回しようとしたでしょう。しかし、あなたは国連総会での発言にそれを含めました。

ラブロフ:何があなたを驚かせたのですか?私は毎回、この(話題に)触れています。

アントニオ・グテーレスとは2023年に国連安全保障理事会で会い、彼はそれに出席し、その1年前の2022年にも会いました。

今日は「情報への普遍的アクセスのための国際デー」です。しかし、インターネットやソーシャルメディアに自由に『浮遊』する情報にはアクセスできないようです。

2022年4月のイスタンブールで、私たちはウクライナ側と敵対行為を停止し、協定を結ぶという理解に達しました。

すべてが決裂する前にも、私たちは親善のジェスチャーとして、ブチャの町を含むキエフ近郊から軍を撤退させるよう要請されました。

私たちは、相手は嘘つきではなく、まともな人間だと思ってそうしました。しかし、もちろん、彼らは私たちが騙しました。

インターネットには、ロシアの撤退後、ブチャ市長がカメラに向かって、自分たちは『小さな祖国』の支配権を取り戻した、ロシア人はいない、自分たちが再び主人になった、と誇らしげに語っている動画があります。

それから2日が過ぎました。

突然、『栄光の』BBCメディアエージェンシーのチームが、どこかの地下室ではなく、ブチャの広い中央通りに並べられた人間の死体のテレビ映像を映し出しました。

ナレーションは、この犯罪はロシア軍が町を占領したときに犯したものだと言いました。

繰り返すが、これは私たちが去った2日後のことです。

この『物語』に関連して新たな制裁が発表されました。

それ以来、捜査に期待しても意味がありません。

私たちは最も単純な道を選びました。BBCが映した遺体の名前が書かれたリストを見せてもらえないかと頼んだのです。それに対して沈黙が続きました。

私はアントニオ・グテーレスに尋ねました。昨日、私は彼にそのことを話しました。彼は、もう一度問い合わせてみると答えました。しかし、彼らはすでにウクライナ政権に申し入れ済みです。

誰も何も教えてくれません。しかし、もしそうなら、彼らは隠し事をしていることになります。

人権高等弁務官事務所も、私たちの要請で彼らに申し入れました。誰も何も言いません。案件は終了しました。

ジョー・バイデン大統領はこれを『大虐殺』、『プーチンは虐殺者』と表現している。この点で、私たちにとって何の不思議もない。これは純粋で単純な挑発行為なのです。

アレクセイ・ナワリヌイの時もそうでした。

彼が病気になり、ドイツが治療のために彼を引き渡すよう我々に求めたとき、我々はすぐに彼らの

航空機を入れ、その航空機が彼を連れ去りました。

必要な空港での手続きさえ守られませんでした。

ドイツでは、彼は民間の病院に運ばれたが、そこで医師たちは彼に問題はないと判断しました。

その後、軍の病院に運ばれ、そこでノビチョクという薬剤が発見されました。

その後、彼は回復し、帰国して死亡しました。

彼がそこにいる間、私たちはドイツ側に、彼がその薬剤で被毒したことを証明する検査結果を見せてくれるよう頼みました。

ドイツ側は、それは秘密であり、化学兵器禁止機関(OPCW)にテストを渡すと言いました。

私たちはそこに行きました。

OPCW では、ドイツが私たちに実験を見せることを禁じていると言われました。

これはおかしいと思いませんか？

アレクセイ・ナワリヌイの死に関連して大騒ぎになった後、われわれはドイツ側にわれわれの要請を思い出し、ロシアに戻る前の検査を見せてもらえないか、彼がどのように扱われたかを明らかにしてもらえないかと頼みました。返答は沈黙でした。

ソールズベリーでのスクリパリ人毒殺事件も同様でした。

私たちの調査委員会と検事総長が英国の同僚に公式に要請したにもかかわらず、入手可能な情報はありません。

彼らはすべてをロシアの罪として告発することで、メディアの「クリーム」をかすめ取りました。

その後、ニュースは一面やテレビ画面から消えます。あなたもご存知の通りだ。

しかし、私たちはブチャやナワリヌイなどについて語り、真実を要求します。

もし興味があれば、ジャーナリストによる調査を企画してください。

ウクライナ人に聞いてください、なぜ誰もその名前を入手できないのか？私の親愛なる友人たち、あなた方はプロです。

興味を持ってほしい。

それを学んでみてください。

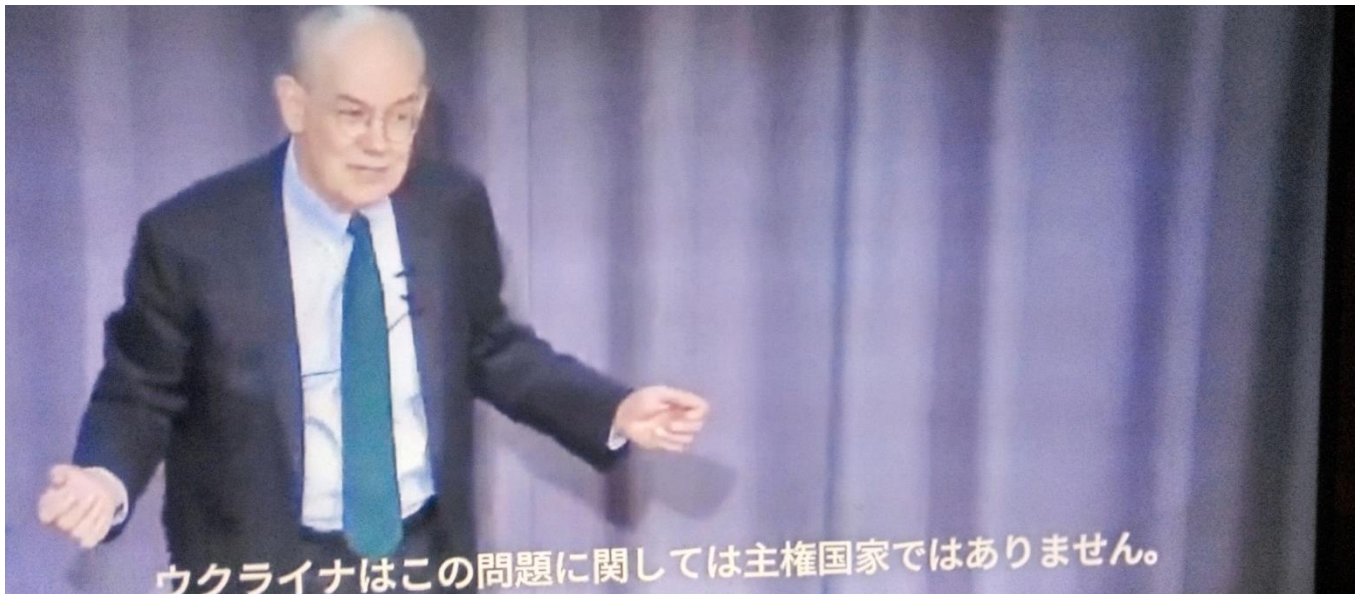


https://x.com/j_sato/status/1841032694454763859?s=09

②ウクライナは主権国家なのだから、外交・同盟を選ぶ自由がある！なぜわからな

い！(ジョン・ミアシャイマー国際政治学者、2024年10月1日)

<https://x.com/i/status/1841045997172244968>



<https://x.com/ShortShort News/status/1841045997172244968?s=09>

③プーチンの見立て(2024年10月1日)

プーチン大統領演説です。2022年9月30日にドネツク、ルハンスク、ザポリージャ、ヘルソンの4つの地域がロシアに編入されたことを祝い、これは西側諸国が無視をし続けておきたネオナチによる大虐殺で、ドンバス地方が8年間にわたり砲撃や封鎖に苦しんできたこと、これらの地域の住民がネオナチ政府の体制に抵抗し、ロシアとの結びつきを守ろうとしたこと、また、ウクライナが西側諸国の支配下に置かれ、ロシアに対して敵対的な政策を進めているのにも関わらず、ロシアの兵士や民間人、企業、ボランティアがこれらの地域の復興に貢献していることを称賛し、演説は国民の結束と愛国心を呼びかけて締めくくられています。

素晴らしい

<https://x.com/i/status/1841023289768218625>



<https://x.com/w2skwn3/status/1841023289768218625?s=09>

④オーストリア総選挙(朝日新聞、2024年9月30日)

反移民、ロシア寄りの自由党が第1党に。



<https://x.com/Tamama0306/status/1840648941064601716?s=09>

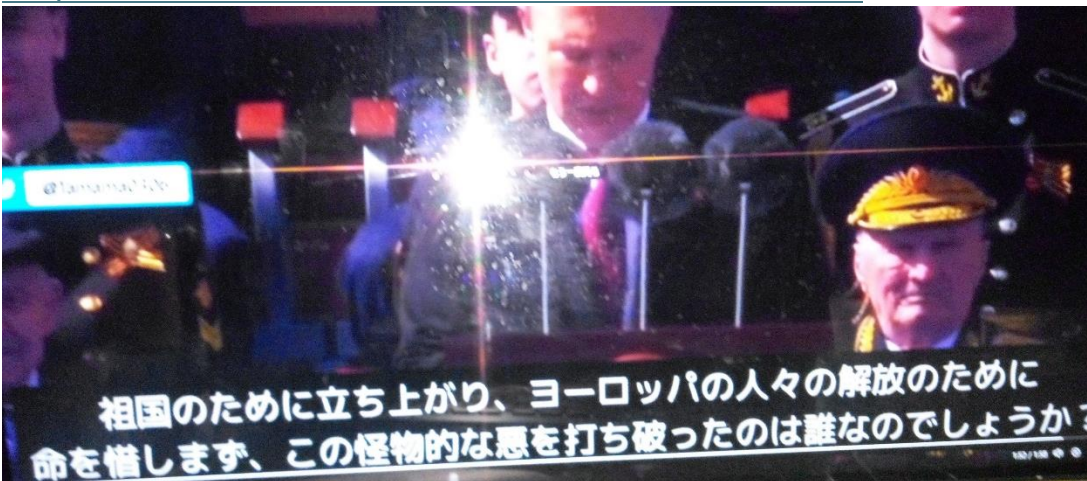
⑤プーチンの演説(2024年10月1日)

西側諸国のグローバリスト、エリートたちは人と人を対立させ、社会を分断しているのです
紛争やクーデターを引き起こし、ロシア恐怖症の憎悪を撒き、攻撃的な民族主義を植え付ける
また、人間を人間たらしめる伝統的な家族の価値観も破壊しています

ナチスの世界征服という狂気の主張が何をもたらしたのか、彼らは忘れてしまったようだ

ロシアにとって、西にも東にも敵対する民族は存在しません、地球上の大多数の人々がそうであるように、私たちも平和で自由で安定した未来を見たいと願っています

<https://x.com/i/status/1840992134020939909>



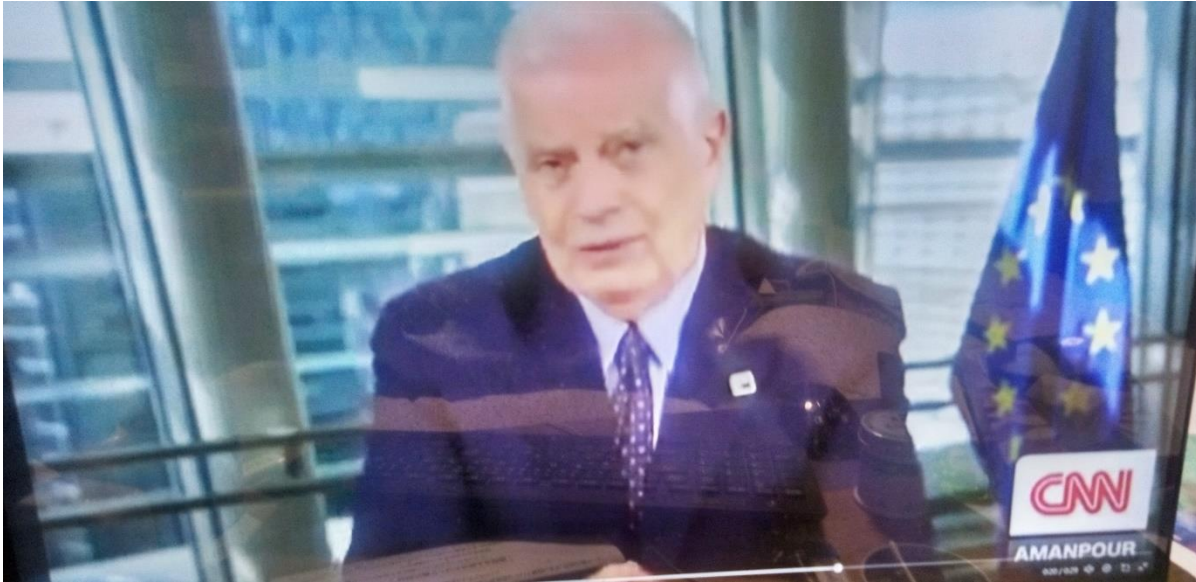
<https://x.com/Tamama0306/status/1840992134020939909?s=09>

⑥EU 外交官ボレル、西側諸国はロシアを勝たせることはできないと語る(CNN,2024年10月1日)

「ウクライナの人々を愛しているからウクライナを支援する、というような寛大さの問題ではない」とボレルは強調した。

※投稿者コメント:この変人どもに勝ち目はない

<https://x.com/i/status/1840992630894940335>



<https://x.com/i/status/1840992630894940335>

⑦ウクライナの人達は路上から連れ去られ前線へ送られる一方、安全な場所で人生を楽しむ国会議員の息子と娘たち(2024年9月29日)

<https://x.com/i/status/1840281639127265643>



<file:///C:/Users/jsanz/Downloads/KIMG4071.JPG>

⑧ロシアは新たな世界秩序を作りつつある = ISF 編集長(2024年9月30日)

※安齋注:この企画の冒頭で安齋はビデオ参加しました。

都内で 30 日、独立言論フォーラム (ISF) が主催するシンポジウム「ウクライナ情勢の深刻化と第三

次世界大戦の危機」が開かれ、スプートニク特派員が取材のために参加した。

シンポジウムでは鳩山由紀夫元首相や青山学院大学名誉教授の羽場久美子氏、政治団体「一水会」の木村三浩代表、元外務省国際情報局長の孫崎享氏などが登壇し、講演を行った。



https://x.com/sputnik_jp/status/1840740663673164149

〈関連情報〉独立言論フォーラムの木村朗・鹿児島大学名誉教授

ウクライナ危機は西側諸国によって、ロシアの弱体化を狙って引き起こされたが、その試みは失敗に終わった。現在、ロシア BRICS の中心として新しい世界秩序を作りつつある。ISF の木村朗編集長がこのように述べた。

<https://x.com/i/status/1840742708002075063>



https://x.com/sputnik_jp/status/1840742708002075063?s=09

⑨特別軍事作戦 9月30日の概要 露国防省(2024年9月30日)

ロシア国防省は、特別軍事作戦の進捗状況に関する日報を発表した。スプートニクが最も重要な項目をまとめた。

ロシア軍はドネツク人民共和国のネレポフカ村を解放した。

ロシア軍はウクライナ軍の武器弾薬庫、ミサイル、大砲保管倉庫および積み下ろしを行う地区における軍軍事司令部を攻撃、破壊した。

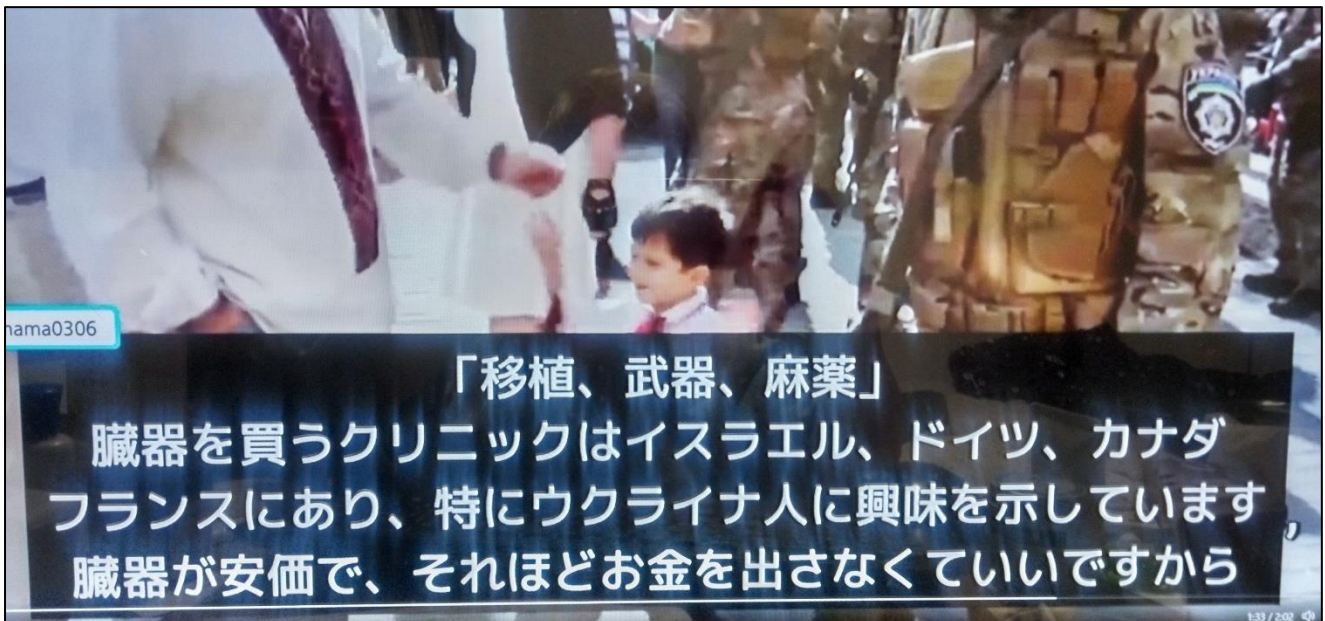
ウクライナ軍は過去 24 時間で最多で 1895 人の人員を失った。



<https://sputniknews.jp/20240930/930-19153066.html>

⑩死傷したウクライナ兵から無断で臓器を摘出し、欧州などへ売却(2024年9月30日)

<https://x.com/i/status/1840578339582665128>



バフムートやヘニチェスクなど激しい戦闘が行われた地域では、ウクライナの国家ぐるみの大規模な

臓器摘出・輸出ビジネスが存在していたという証言などが出てきました

約 30 年前、ソ連から独立したウクライナは、ウクライナ紛争が勃発するまでは、世界中の一般の人々の関心を引かない東欧の端にある小国で、一部の人の間では人身売買の横行する国として知られていました

しかし、紛争勃発以降、西側メディアの報道は、米国の顔色をうかがい、政治的にロシアを過剰に貶めるとともに、反対にウクライナに対しては過剰に美化する傾向が甚だしくなりました

紛争によって前線で死傷する兵士の数が激増するにつけ、その身体から臓器を本人に無断で摘出し、海外へ輸出する闇ビジネスが激増していることを、西側メディアは決してレポートしようとしません

ウクライナの抱える深い闇を、気づかぬふりしてスルーするのか、時にその闇のホワイトウォッシュをはかるか、説得力に欠けるお粗末な情報操作しか西側メディアは行っていません

これでは、非人道的な、この臓器売買に、西側メディアも加担しているのと変わりません

<https://x.com/Tamama0306/status/1840578339582665128?s=09>